

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-9567
住 所 川崎市川崎区白石町2-1
氏 名 日本鑄造株式会社
代表取締役 鷺尾 勝

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本鑄造株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区白石町2-1		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者		
	☐ 規則第4条第2号該当事業者		
	☐ 規則第4条第3号該当事業者		
	☐ 規則第4条第4号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類		
	中分類		
主たる事業 の内容			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	4,857	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ～ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

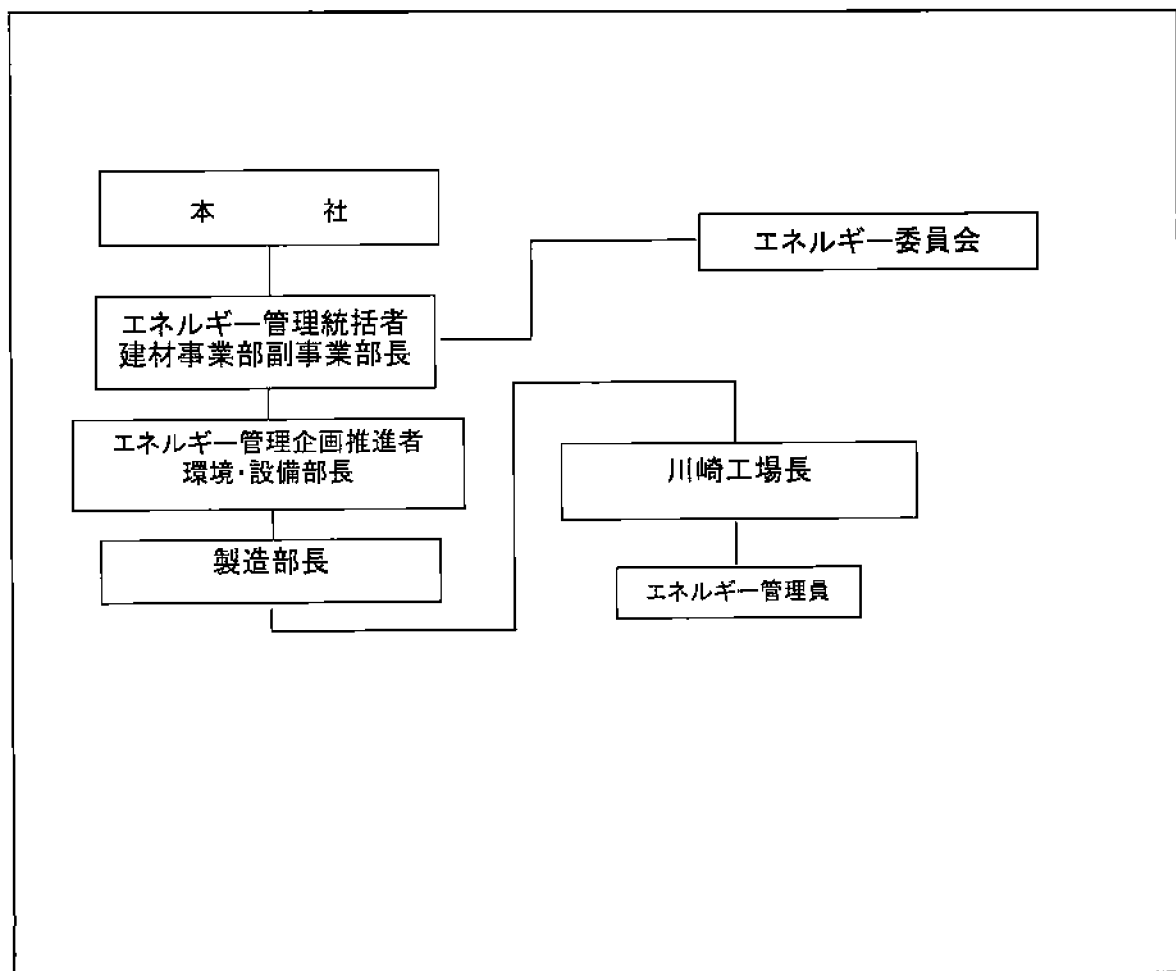
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- 推進体制の整備
- 照明設備：高効率照明設備を導入する。
- 空調設備を高効率なものに更新する。
- 取鍋予熱を高効率なものに更新する。
- トランスを高効率なものに更新する。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ①川崎市内工場の排出量削減計画に基づき、省エネ及び排出量削減の目標設定を行い、年度計画を作成する。具体的な実施項目と予算化する必要あるものを半期ごとに確認・共有する。
- ②年度計画の実施項目の進捗管理とエネルギー使用量及び排出量の実績管理を行い、予算管理も含めて運転・設備保全上での省エネ課題を整理し、年度計画の見直しを行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基 準 年 度		2018		年度	
目 標 年 度		2021		年度	
基 準 排 出 量		(実) 9,165 (調) 9,020	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
目 標 排 出 量		(実) 9,100 (調) 9,100	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
削 減 量		(実) 65	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実) 83	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) -18	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率		(実) 0.7	%	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		溶解量			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /t			
基 準 年 度 の 値		1.416			
目 標 年 度 の 値		1.556			
削 減 率		-9.9		%	

ウ 目標設定に関する説明

年度ごとの変動が大きいため平均を算出して平均に近い数値にしました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容(別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	○本事務所の照明設備のLED化。 ○老朽空調設備の更新による高効率化。 ○取鍋加熱装置の導入による省エネ化。	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)		

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

○川崎工場の照明設備をLEDにしました。 ○川崎工場の大型トランスを高効率化した。 ○川崎本館に22kwの太陽電池発電設備を導入した。 ○空調設備を高効率なものにしました。 ○池上工場の高周波炉にて電源設備を容量を見直し更新しました。 ○高周波炉のコイルを高効率なものに更新しました。

(2) 再生可能エネルギー等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太陽光	○	川崎本館屋上に22kwのパネルを設置した。
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度
太陽光	川崎本館屋上に22kwのパネルを設置した。	2017年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	△
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特にありません。
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	○廃棄物の減量化・分別の推進を図る。 ○従業員の通勤における公共交通機関の利用促進 (通勤における温室効果ガス排出量の削減) ○製品出荷における配送の効率化 (輸送における温室効果ガス排出量の削減)
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	9,165	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

4,857	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

2

（2）事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎工場	川崎市川崎区白石町2-1	6,700 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
池上工場	川崎市川崎区池上町2-1	2,465 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂